



私のアバター「ながちゃん」 大阪万博会場にて

（アバター・コンピューター上の自分の化身）と出会います。

令和8年1月1日現在
総世帯数 1,336世帯
総人口 2,290人
男 1,105人
女 1,185人

昔から「仏都・長野」に対して松本は「商都」と言わされてきました。六九に「井上」があつて、伊勢町の通りも道路幅が

度の猛暑のなか「私が案内するから」という友人に導かれての旅でした。感謝。体験できたパビリオンのなかで印象

昔から「仏都・長野」に対する松本は商都と謂われてきました。六九に「井上」があつて、伊勢町の通りも道路幅が

光が当たる培養液の中で—
P.S 心臓が実際に拍動する展示がありました。最先端の未来の医療。いのちの世界の前の前で見て感動しました。
その他にも我々が直面している長寿社会へのヒントが沢山。ワクワク胸躍り、ぼやつとした頭と身体も刺激を受けた2日間のEXPO2025でした。

そういった簡単に買い物ができる時代に、自分は取り残されている気がします。特に衣類など身に付ける物の買い物が苦手です。

狭くて一方通行ながらも、道
路を挟むようにしてアーケード
があつて賑わっていたのを
覚えています。

ただ、月日が経ち、昨年の
春までに大型の商業施設が3
店舗も閉店してしまったといつ
衰退ぶりです。原因としては、
車社会と言われて久しいです
が、買い物客が郊外型で駐車
場もたつぶりという店に行つ
てしまつこと、さらに現在は

「新生・商都松本」をみんなで作っていきましょう!!

まだ、松本は衰退するには早すぎます。

「ぶり買つときは郊外の大型店」というように、使い分けのできる街づくりをして欲しいなと思います。

色あいが違つたらどうしようとか、サイズが合わなかつたらどうしようかといった心配が先行してしまいます。そうした時に気軽にに行けるお店があれば便利ですよ。今はまだ車で行けるからね。今思つていても、時代は高齢化社会。移動するのに苦労する時代が自分にもやってきまます。

The image shows the Toyama City Hall, a large, modern white building with a curved facade. The building has multiple levels and is decorated with several rectangular windows of varying sizes. A person is walking on the sidewalk in front of the building. The sky is overcast.

令和7年は3月末までに大型商業施設が3か所閉店した

第28回第二地区文化祭



第二地区文化祭が11月8日に開催されました。

207作品の展示と昨年よりも多い12団体が出演したステージ発表を大勢のみなさんが鑑賞し、にぎやかな1日になりました。



氷上の詩人とも称され、世界を席巻した金メダリストのオーラは格別ですが、今は工プロン姿で優しく穏やかに接客してくれます。彼女の見事なラテアートに目を見張りつつ、フレンドリーに地域の方々との絆も深めたいとの想いも伝わる、そんな「なおちゃん」のカフェを是非一度訪れてみて下さい。

(宮澤)

「命と向き合ひ患者さんやその家族、職員の皆さんを近くで感じながら、誰もがほつとひと息、ささやかなぬもりを感じて欲しい、そんな想いをこの空間に込めました」と語っています。

すき川

平昌五輪女子500m金メダリスト、W杯23連勝

国内外大会37連勝という圧巻の金字塔を打ち立てた世界的アスリートと言えれば、誰でも小平奈緒さんと即答できるはず。

茅野市出身の彼女は信州大学卒業後、相澤病院に所属し引退後も相澤病院ブランドアンバサダーとして活躍されています。

と